

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		41500	海上ふれあい館管理費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
実施体系		基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	海上ふれあい館の設置及び管理に関する条例	10	4	8	事業種別
施策の展開		24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125	各施設の整備充実				☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策の展開				戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	JR飯岡駅舎との複合施設。 ふれあいサロン(22.39㎡)、ふれあいギャラリー(38.20㎡)、飯岡駅トイレが設けられており、各施設の維持管理を行う。 ふれあいサロンおよび飯岡駅トイレは、飯岡駅利用者の待合室や地域住民の憩いの場となっている。 ふれあいギャラリーは、文化活動の支援として学習活動(作品等)の発表の場となっている。	市民の文化活動の支援及び地域住民の融和を図るため、平成9年9月から飯岡駅改修に伴い閉館。	海上地区内のサークルだけでなく、他地区からの貸出申請が提出されるようになった。	展示品の販売をさせてほしい。 来場者用駐車場が無い。(飯岡駅駐車場が無い)駐輪場を整備してほしい。(違反駐輪が多い)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.需用費	714	消耗品費、光熱水費、修繕料	千円	921	1,588	767	714	878
2.役務費	161	通信運搬費、手数料、保険料	千円	177	171	161	161	167
3.委託料	1,322	施設維持管理手数料、浄化槽維持管理等委託料、清掃等委託料	千円	1,154	1,168	1,202	1,322	1,329
4.使用料及び賃借料	24	放送受信料、諸借上料	千円	24	24	25	24	25
5.その他	0	工事請負費、教育用備品費、	千円	404	0	0	0	0
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計(A)					
1.国庫支出金	0		千円	2,680	2,951	2,155	2,221	2,399
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			千円	2,680	2,951	2,155	2,221	2,399

前年度増減理由	管理用消耗品減・管理業務委託料増額による
---------	----------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

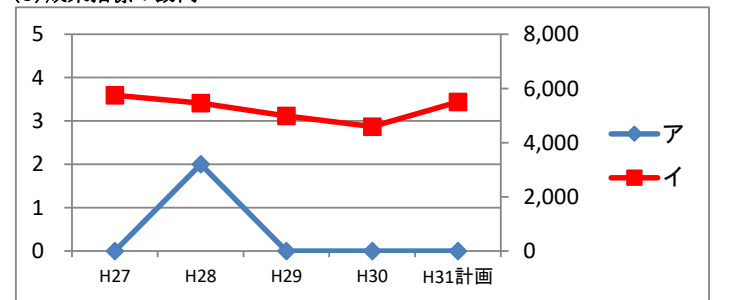
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
手段	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 修繕件数	件	1	4	3	1	1
	・文化活動の作品等の展示 ・地域住民の憩いの場、飯岡駅利用者待合室としての場の提供	イ 貸館件数	件	24	24	24	24	24
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
目的	対象 市民	ア 施設に関する苦情件数	件	0	2	0	0	0
	意図 学習活動(作品等)の成果を発表し、芸術・文化に親しみをもち、憩いの場として安全かつ気軽に利用する	イ ふれあいギャラリー来訪者数	人	5,750	5,458	4,991	4,593	5,500

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難									
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値減＝成果向上	数値増＝成果向上	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		成果指標イ	のタイプ			成果動向	27年度	28年度	29年度	30年度	31計画
	飯岡駅利用者の減少						ア	0	2	△2	0	0
							イ	490	△292	△467	△398	907
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性						
		令和元年度中	市民が利用しやすい環境を整える。 個別施設計画の策定を行う			通年	いたずらやゴミの投棄を防止するため、ふれあい館の見回りを定期的に行う。					